### 市民アンケート調査票

#### ご自身のことについてお尋ねします

性別

- 1.男性
- 2.女性
- 3.回答しない

年齢

- 1.16~19歳
- 2.20~29歳
- 3.30~39歳
- 4.40~49歳

- 5.50~59歳 6.60~69歳 7.70~79歳 8.80歳以上

世帯構成

- 1. 単身
- 2. 夫婦のみ
- 3.親子 4.親子孫(3世代)

5. その他(

)

世帯人数

- 1.1人
- 2.2人
- 3.3人
- 4.4人 5.5人

6.6人以上

居住年数 ( 川西市内での居住年数)

- 1.3 年未満 3.3 年以上~5 年未満 4.5 年以上~10 年未満
- 5.10年以上~20年未満 6.20年以上

居住形態

- 1. 戸建住宅
- 2.集合住宅
- 3. 社宅・寮

4. その他(

)

現在の居住地

- 1.川西市内
- 2. 川西市外

### ごみの減量及びリサイクルについてお尋ねします

各設問をお読みになり、ご自身のお考えに近い答えの番号に○をつけてください。

### 問1 あなたはごみの減量やリサイクルにどの程度関心がありますか。( は1つ)

- 1. 非常に関心がある 2. ある程度関心がある 3. あまり関心がない
- 4. まったく関心がない

### 問2 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。 から の項目ごとにあてはまる番号1つに〇をつけてください。

	いつもしている	ほとんどしている	時々している	ほとんどしていない	していない
ごみの分別をきちんとする	1	2	3	4	5
生ごみは水気を切ってから出す	1	2	3	4	5
生ごみをたい肥化している	1	2	3	4	5
買い物時マイバッグを持参している	1	2	3	4	5
余分な包装は断る	1	2	3	4	5
食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする	1	2	3	4	5
トレイや、牛乳パックはスーパーなどのリサイクル BOX を利用している	1	2	3	4	5
詰め替えタイプの商品を選んで買っている	1	2	3	4	5
フリーマーケットやリサイクルショップなどを利用する	1	2	3	4	5
使い捨て製品(割りばしなど)を買わないようにする	1	2	3	4	5
修理をするなどして物を長く大切に使う	1	2	3	4	5
集団回収に参加している	1	2	3	4	5
その他に取り組んでいることがあればご自由にお書き下さい					
(				)	

# 問3 ごみの減量やリサイクルについて、今以上にやってみようと思うことや簡単にできそうだと思うことはありますか。(〇は3つまで) ( 問2で「している」と答えた取り組みと重複しても結構です)

- 1. ごみの分別をきちんとする
- 2. 生ごみは水気を切ってから出す
- 3. 生ごみをたい肥化する
- 4. 買い物時マイバッグを持参する
- 5. 余分な包装は断る
- 6. 食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする
- 7. トレイや、牛乳パックはスーパーなどのリサイクル BOX を利用する
- 8. 詰め替えタイプの商品を選んで買うようにする
- 9. フリーマーケットやリサイクルショップを利用する
- 10. 使い捨て製品(割りばしなど)を買わないようにする
- 11. 修理をするなどして物を長く大切に使う
- 12. 集団回収に参加する

13. その他 (

### 問4 ごみの減量やリサイクルが進まないなどごみ問題の大きな原因は何だと思いますか。 (○は3つまで)

- 1. ごみを排出する市民の意識
- 2. 情報が十分に伝えられていない
- 3. 事業者のリユース (再使用) やリサイクル (再資源化)の取り組みが十分ではない
- 4. ポイ捨てや不法投棄に対する規制や対策が徹底されていない
- 5. メーカーや販売店など企業のごみ減量化への取り組みが十分ではない
- 6. 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式が進んでいる
- 7. その他 ( )

### 問5 ごみの排出や減量に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも) 1. ごみの排出日が分かりにくい 2. ごみステーションが遠い 3. ごみの分別が分かりにくい 4. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない 5. 集団回収を利用したいが、どのようにしたらよいか分からない 6. クリーンセンターの見学や講座に参加したいが、どのようにしたらよいか分からない 7. 問い合わせ先が分からない 8. 特に困っていることはない 9. その他( ) 問6-1 地域で行われている古紙やアルミ缶など資源物の集団回収に参加していますか。(〇は1つ) 1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している 2. 時々参加している 3. 知らなかったが、今後は参加したい 4. 知っているが、参加したことがない 問6-2へ 5. 知らなかったし、今後も参加しない 6. その他( ) 問6-2 4、5に をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(〇は1つ) 1. 回収場所が遠いから 2. 回収の回数が少ないから 3. 分別するのが手間だから 4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから

)

5. その他(

尚 /		.み処理機やコンボスト化容器などを利用して生こみをたい肥化し、生こみの減量化に取り組 ことはありますか。(〇は1つ)
	1.	現在取り組んでいる
	2.	以前取り組んでいたが、今はしていない
	3.	取り組んだことはない
	4.	今後、取り組んでみたい
問8-	事業	近年、食品ロス(本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと)を削減するため、行政・ 注者においても様々な取り組みが進められています。「食品ロス」という言葉を知っています (○は1つ)
	1.	知っている
	2.	言葉は知っているが意味は知らなかった
	3.	言葉自体を初めて知った
	4.	その他 (
O] O -		食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組んでいることはありますか。(○はい ○つでも)
	1.	食べきれない食品を買い過ぎない
	2.	買い物前に食品の在庫を確認する
	3.	長持ちする保存方法を調べて、保存する
	4.	インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る
	5.	冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する (使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ)
	6.	外食時は食べきれる量を注文する
	7.	購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ(て
		まえどり)
	8.	食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する
	9.	その他 ( )

### 問8-3 食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組みたいものはありますか。(○はいくつでも)

- 1. 食べきれない食品を買い過ぎない
- 2. 買い物前に食品の在庫を確認する
- 3. 長持ちする保存方法を調べて、保存する
- 4. インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る
- 5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する(使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ)
- 6. 外食時は食べきれる量を注文する
- 7. 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ(てまえどり)
- 8. 食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する
- 9. その他 ( )

#### 問9 国崎クリーンセンターを利用されたことはありますか。(○はいくつでも)

- 1. 国崎クリーンセンターに行ったことがある
- 2. 国崎クリーンセンターの見学会に参加した
- 3. 国崎クリーンセンターで行われたイベントに参加した
- 4. 地域の自治会等で開催された市のまちづくり出前講座で国崎クリーンセンターを見学した
- 5. 国崎クリーンセンターに行ったことがない
- 6. 国崎クリーンセンターを知らない
- 7. その他 ( )

#### 問 10 地域のごみステーションで問題となっていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1. ごみがきちんと分けられていない
- 2. 収集日でない日にごみが出されている
- 3. ごみ出しの時間が守られていない
- 4. カラスや猫などの動物に荒らされる
- 5. ごみステーションが汚れたままになっている
- 6. 資源物が抜き取られている

	8. その他 (
問 11	ごみの減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)
	1. 広報かわにし「milife」
	2. ごみ行政特集「Rあ~る かわにし」
	3. 広報「森の泉」(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)
	4. インターネット (市のホームページ)
	5. インターネット (国崎クリーンセンターのホームページ)
	6. 分別アプリ
	7. 市役所や国崎クリーンセンターへの問い合わせ
	8. 家族、知人、近隣の住民
	9. その他 ( )
	ごみやリサイクル等に関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。 ○は3つまで)
	1. ごみや資源物の量の推移
	2. ごみや資源物のゆくえ
	3. ごみの処理にかかる費用
	4. 分かりにくいごみの分別の種類
	5. 市の助成制度
	6. 資源物を店頭回収したり、環境にやさしい商品を取り扱う店舗
	7. ごみ処理やリサイクルに関する法律
	8. その他 ( )

7. 特に問題となっていることはない

## 問 13 ごみの減量やリサイクルを進めていくうえで、取組を促進するためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1. ごみの分別をさらに徹底するための啓発
- 2. ごみやリサイクルに関する情報提供の充実
- 3. ごみ問題を学習する機会の提供
- 4. ごみ問題に関する学校教育の充実
- 5. 集団回収への積極的な参加の促進
- 6. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発
- 7. リユースの取り組みの強化
- 8. 家庭ごみ (燃やすごみ) 収集の有料化
- 9. その他 (

### 問14 市が行っている施策について、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

- 1. 再生資源集団回収奨励金制度
- 2. 市から排出される機密文書などのリサイクル事業
- 3. 剪定枝粉砕機貸出事業
- 4. ごみ行政特集「R あ~る かわにし」の発行
- 5. まちづくり出前講座「ごみ減量出前講座」の開催
- 6. 子ども向けごみ学習会の開催
- 7. 子ども服リユース事業「ふクレル」
- 8. 川西市食べ残しゼロ運動
- 9. 家庭ごみ量速報
- 10.「啓発パネル展」の実施
- 11. サポート収集(高齢者、障がい者の戸別収集)

問	15	現在、川西市ではごみ処理費用(大型ごみは除く)は税金によってまかなわれていますが、 国全体の施策の方針として「ごみ処理の有料化」(ごみの排出量の多い人が多く負担する)の 推進が示されています。 全国では、各家庭から出る可燃ごみ、不燃ごみの量に応じて処理料金をごみ袋の金額に上乗せ して、支払う仕組み「ごみ袋の有料化制度」を取り入れている自治体があります。 ごみ処理費用の負担(ごみ袋の有料化)について、どう思われますか。ご意見をお聞かせくだ さい。			
		1. 賛成 (	)		
		2. 現状維持 (	)		
		3. 反対 (	)		
		4. その他 (	)		

以上で質問は終了です。アンケートにご協力いただきありがとうございました。